

砧のひびき

166号



発行日 令和8年2月4日
 発行者 砧のひびき編集委員会
 事務局 砧まちづくりセンター

世田谷区、砧地区(砧・大蔵・岡本・砧公園)の人口・世帯数統計

令和8年1月1日現在	人口(前年同月比)	総世帯数(前年同月比)
世田谷区	928,666 人 (↓394)	508,002 世帯 (↓506)
砧地区	42,792 人 (↓9)	20,738 世帯 (↓10)

世田谷区のホームページでもご覧になれます。
 『砧のひびき』『砧地区ミニコミ』で検索してください。

世田谷区の中でも子育て世帯の多い砧地区。子どもたちには、学校だけでなく、放課後や休日に誰でも利用できる自由な居場所がたくさんあります。未就学児も参加できるイベントもあり、安心して過ごせます！今回は秋に行われたイベントとともに3つの施設を紹介します。

鎌田児童館「こどもまつり かまじむら」

毎年恒例の「こどもまつり かまじむら」が昨年11月9日(日)に鎌田児童館で行われました。

例年ならば隣接する仙川沿いの区道を通行止めにして会場設営するのですが、当日はあいにくの雨ふり。まつりのシンボルの高さ6メートルのティピ(アメリカインディアンの家)は今回ホールには入らず断念。小型のティピだけでしたが、砧の自然を使って楽しむコンセプトの雰囲気づくりに一役買っていました。

会場内は大勢の子どもたちが工夫を凝らしたお店を出店。手作り屋さん、ゲーム屋さんなどどれも楽しく、完成度の高いものばかり。大きな声を出してお客さんに説明する姿にも感心です。手作り体験コーナーや食べ物、飲み物コーナーは、保護者や地域の大人、高校生、大学生が担当。みんなで盛り上げている姿も素敵です。小学生だけでなく、幼児も保護者同伴で参加できるので、幼児向けの読み聞かせのコーナーも人気でした。

「児童館の担当エリアで来館してくれる児童はまだまだ少ない。子どもたちがもっと気軽に利用してくれるよう工夫したい。」と酒井館長は言います。

次は青空の下で高くそびえるティピとたくさんの子どもの笑顔を見たいと思いながら会場を後にしたこどもまつりでした！



酒井館長

砧南小の峯岸校長が金魚すくいに挑戦！

砧あそびの杜プレーパーク

昨年3月に外遊びの充実を目的に「砧あそびの杜プレーパーク」が大蔵運動公園アスレチック広場にオープン。区内5地域すべてにプレーパークがそろったそうです。

10月26日(日)にはリーダーハウス(愛称:崖っぶちハウス)とウッドデッキのお披露目会があり、近隣町会、関係者が見守る中、子どもたちが植樹やプレートの取り付けを手伝いました。その後、子どもたちは、たき火でマシュマロを焼いたり、ギターの音に合わせて歌ったり、ベーゴマで熱い勝負をしたりと大盛り上がり！プレーワーカーも遊び相手。一緒に遊びながら見守っていました。

最近は塾やゲームで外遊びが減っていますが、プレーパークでは木登り、泥遊び、穴掘り、枯れ木や石を集めて工作など自由に挑戦できます。近所の公園で規制されているボール遊びも、声を出して走り回るのも大歓迎！プレーワーカーや子育てサポーターなどいろいろな人が一緒に遊んでくれるので、遊びの幅がぐんと広がりそう。ここは「やってみたい！」を応援してくれる場所です。週末や春休みに、友達や家族と思い切り外遊びを楽しんでみてはいかがでしょうか？



山野児童館「ぽんぽこむらまつり」

10月19日(日)子どもたちが楽しみにしていた「ぽんぽこむらまつり」が、正午より午後2時まで、山野児童館にて開催されました。このおまつりは、山野児童館の地域の大人たちの会「親だぬきの会」が中心となり実行委員会を組織して運営され、毎年、子どもたちのお店と大人たちのお店がたくさん出店します。子どもたちの手作りの「こものやさん」、「ゲームやさん」など、どれも楽しいものばかりです。大人たちは、焼きそば、たこ焼き、綿菓子などの食べ物のお店や、無料の手作りコーナーを担当します。



大人も子どもも「たぬきの耳」で扮装！



海をモチーフにした指輪



ビー玉ゲーム



子どものお店

雪だるまのキャンドル

エンディングは、子どもたちによる見事なジャグリングやスピニングプレート！大歓声に包まれます。清水館長のご挨拶で楽しい楽しい子どもまつりはお開きになりました。



実行委員長/「親だぬきの会」代表 長島大輔さん

清水館長



←記念の植樹は紅葉が美しい「めくすりの木」



↑完成したリーダーハウスとウッドデッキの前で砧地区の町会長よりお祝いのあいさつ



災害時のトイレを考える



災害時トイレ対策 待ったなし！

6 安全な水とトイレ
を世界中に



避難所ではTKB（トイレ・キッチン・ベッド）と言われ、トイレ対策は最優先課題です。現場で起きる問題には現物で対処するしかありません。きっかけは2016年、サレジアン国際学園世田谷中学高等学校（旧目黒星美学園中学高等学校）の生徒による「女子校生と学ぶ防災対策勉強会」への参加でした。災害時のトイレ対策に関する熱心なプレゼンに触れ、これは喫緊の課題だと感じました。

法人格砧町自治会では携帯トイレの材料を入手し、会員向けにサンプルを作成。「安心・安全・安定・安価」の観点から「安心トイレ」と名付け、普及活動に取り組みました。防災訓練や講習会、砧公園の「防災フェスタ」などで重要性を伝え、市販の携帯トイレ約40種類も収集。その結果、構成要素は黒い袋、凝固剤、防臭袋に集約されると分かりました。訓練では凝固剤の実験や、カレー粉や銀杏を使った防臭袋の効果体験も行いました。「携帯トイレは〇〇個備えましょう」だけでは不十分で、外出時・避難所・在宅避難など場面ごとに備えを考える必要があります。

在宅避難で1日7回排泄すると仮定し、4人家族で1週間トイレが使えない場合、約200個の携帯トイレが必要になります。費用も収納も膨大です。そこで内容物を理解し、材料を別々に準備する方法を考え、「アートイレ」を発案しました。携帯トイレの3要素を袋に入れ、折り紙やシールで装飾し、自宅のトイレに飾ることで、日頃から備えを意識してもらう狙いです。

地震、豪雨、排水管損傷による道路陥没、富士山噴火の降灰など、トイレが使えなくなるリスクは高まっています。食物は分け合えても、排泄は個人で解決するしかありません。SDGsの目標にも「安全な水とトイレを世界中に」が掲げられています。災害時に排泄物が適切に処理されないと、免疫力の弱い人、特に子どもは感染症の危険にさらされます。「災害時にも快適なトイレを！」を目標に、今後も市民目線で災害時のトイレ対策に取り組んでいくつもりです。

法人格砧町自治会 栗山励子・奥津健太郎

／やってみよう！凝固剤実験／

使うもの



【お小水に見立てた色水】と【凝固剤】



色水と凝固剤を合わせて
混ぜ合わせると…



アートイレには、
・凝固剤
・黒い袋
・臭断袋が入っています

素早く凝固！
「携帯トイレの肝は、
凝固剤にあり」
ということがよくわかりました

←防災フェスタ2025in 砧公園で「災害時トイレ対策」ブースを開設しました



砧のあれこれ⑥

大蔵運動公園の防空壕



大蔵運動公園を一回り散歩した時のこと、若い頃テニス大会でお世話になった懐かしいテニスコートの一番西にある12番コートの南端（北側・砧あそびの杜プレーパーク）でふと看板が目にとまりました。



タイトルは、「戦争の記憶～大蔵運動公園の防空壕」。内容は、「空襲の危険性が高まった昭和19（1944）年、第二陸軍病院大蔵分院（現在の国立成育医療研究センター）に近かったこの場所に、東京都は防空壕をつくることにしました。（中略）この看板の後ろの斜面の3か所から堀りはじめ、枝分かれや合流しながら、1本の横穴を陸軍病院までつなげました。（中略）防空壕は、大いに活躍し、空襲警報が出るたびに、陸軍病院の患者や看護婦の避難に活用されました。【参考文献】『砧公園』（財）東京都公園協会」（一部抜粋）と書いてあります。

この看板を観て、びっくり。参考文献の「砧公園」の著者は、砧1丁目に住まわれていた石内展行氏です。以前砧町町会長の長島日出男さんからこの本を紹介され、この防空壕の箇所はチェックした箇所でありました。いま、戦後80年が経ち、防空壕は埋め戻されましたが、戦争の記憶を後世に残すと共に将来の平和を願って、この地に看板として設置されたとのこと。砧の住民として、地元先人の記憶を長く伝え合っていきたいと見つめ直しました。



↑看板付近から成育医療研究センターを望む

よく見れば なずな花さく 垣根かな
芭蕉

「砧散歩」いいですね。

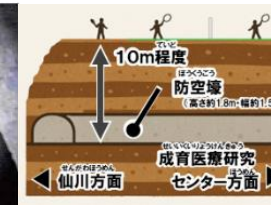
砧の散歩人 竹内秀雄



防空壕の位置図



工事前の防空壕の内部様子



防空壕のイメージ

＼事務局からお知らせ／

新「ひびきちゃん」に
なりました！

これまでの
デザイン
変遷



↑初代「ひびきちゃん」

15号発行時（平成3年7月17日）にミニコミ紙の名称が、「きぬた5（ファイブ）」から「砧のひびき」に変更しました。それに伴い、マスコット人形の名称が、「だいごちゃん」から「ひびきちゃん」に変更となりました。



より見やすく、表現の幅を広げるため、今回からデジタル化しました。

28号発行時（平成7年9月20日）に「ひびきちゃん」のデザインが変更され、現在まで二代目「ひびきちゃん」が用いられてきました。

→二代目
「ひびきちゃん」



生活の中でお困りのことがあれば、
砧まちづくりセンター、砧あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会（砧地区事務局）へ。
全て同じ建物内にあります。〒157-0073 世田谷区砧5-8-18

砧まちづくりセンター	TEL 03-3417-3405	FAX 03-5494-7016
砧あんしんすこやかセンター	TEL 03-3416-3217	FAX 03-3416-3250
社会福祉協議会砧地区事務局	TEL 080-9418-7736	FAX 03-4330-1226



「砧のひびき」は世田谷区のホームページでもご覧になれます。
※掲載内容の概要は音声読み上げにも対応しています。

砧のひびき

検索